

地区名 大館市・北秋田市・北秋田郡

所在地 大館市比内町日詰坂下

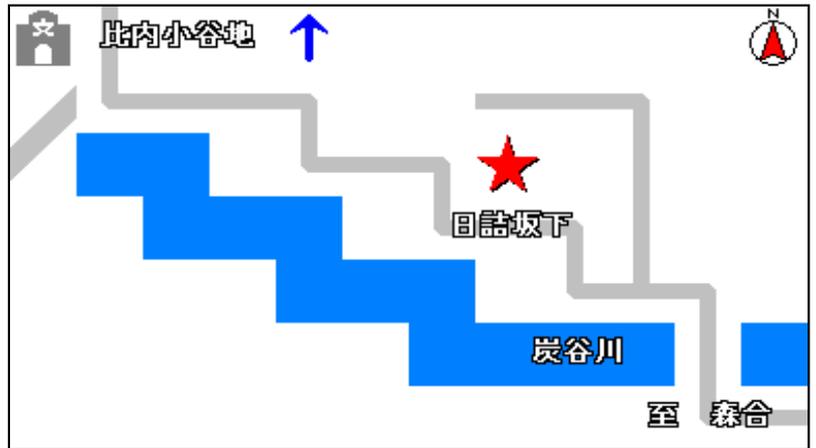
バス駐車 ○ 大地のつくり

トイレ × **火山のはたらき**

露頭までの道のり

比内町の東館小学校近くの道路沿いが観察場所。道幅は狭い。観察場所の上面は一面畑となっており、ホップの栽培が盛んである。

安全上の留意点



道幅が狭く、車通りも比較的あるので観察の最中、道路へ飛び出したりしないよう指導を徹底する。露頭は切り立っており登ることはできないが、天候の具合によっては崖崩れにも注意しなくてはならない。柔らかい地層が広がっており、露頭を必要以上に傷つけないことなどを十分指導する。

観察のポイント

- ①地層の広がりを感じる。
- ②地層に含まれる軽石を観察すること。
- ③火山灰を採取すること。

地質年代

新生代第四紀更新世後期(約1万数千年前)

解説

八戸火砕流堆積物を見ることができ、20～30mの厚さで堆積している地層は圧巻である。中には火山灰と穴の開いた軽石が見られることから「火山のはたらき」でできた大地だと判断できる。

軽石は穴が開いており、溶岩が狭い火道を通ったため繊維状になっているのが確認できる。また、地層の中には炭化木片が見られ、堆積時の高温環境が想像できる。

露頭概観

指導形式

B



白っぽい火山灰の層に、ぼつぼつと突起状になっているところがあり、それは軽石であることが分かる。



露頭に近づいて観察すると、細かい軽石が多数含まれていることがわかる。



地層の中に黒く炭化した植物片がある。高温の火砕流によって植物が炭になったことを説明すると、当時の堆積環境を想起できる。